

学会録事

1. 日本藻類学会第33回大会報告

(1) 日本藻類学会第33回大会

上記大会を2009年3月26日(木)～29日(日)に琉球大学千原キャンパスで開催した。

大会1日目は、午前ワークショップI「藻類観察の技術講習—電子顕微鏡(免疫電顕法・ホールマウント法)、蛍光顕微鏡(FISH法)」(講師:長里千香子氏,本多大輔氏,田辺祥子氏)を琉球大学理学部棟で行った。午後には、編集委員会および評議員会を理学部理系複合棟にて開催した。2日目は、法文学部新棟1階と2階に於いて2会場で口頭発表を行い、ポスター発表(奇数番号)を行った。その後、日本藻類学会総会を行い、総会終了後、生協食堂にて懇親会を催した。3日目は、口頭発表およびポスター発表(偶数番号)を行い、午後3時30分より公開シンポジウム—南の海から見える藻類の利用と課題—「沖縄県の海藻産業とマリンバイオ産業創出事業」を開催した。また、ワークショップII「沖縄の海藻と微細藻の観察採集会」(講師:大葉英雄氏,寺田竜太氏,須田彰一郎氏,河地正伸氏他)を3日目夕方から琉球大学全国共同利用施設瀬底実験所に移動し、3月30日午前中まで行った。大会4日目は、エクスカッション(八重瀬町のカサノリとシマチスジノリ生育地の見学)を行った。また、会期中、カサノリ特別発表・展示が行われた。

大会の開催にあたり、大会会長の松田伸也氏、大会実行委員会の須田彰一郎氏、その他琉球大学の研究員、大学院生および学生諸氏等、多数の方々にご尽力いただいた。ここに記して厚く御礼申し上げる。

(2) 編集委員会・評議員会

3月26日午後3時から琉球大学理学部理系複合棟にて、英文誌および和文誌の合同編集委員会を開催した。

英文誌については、石田英文誌編集長から「Phycological Research」の2008年度、2009年度の編集状況および年間投稿状況に関する報告があった。2008年度は総頁数325頁、掲載論文数34編であったことが報告された。2009年度については57巻1号に8編が掲載され、2号に10編の掲載予定で、57巻3号以降の受理論文数は3月1日現在16編であることが報告された。また、2007年度のインパクトファクターが0.836であったこと、2010年からの編集長は峯一朗氏の予定であること、2009年度の英文誌発行経費に関するWiley-Blackwellとの契約について説明があった。Wiley-Blackwellの柏村愛氏から2008年度の英文誌出版状況・成果等をまとめた年次報告書についての説明があった。

和文誌については寺田和文誌編集委員長より「藻類」56巻および57巻の編集状況に関する報告があった。2008年に発行された56巻には7編の原著論文や総説のほか、学会講演要旨や企画記事等が掲載され、総頁数は306頁(1号増補

54頁を含む)であったことが報告された。また、編集に関連した2008年度の改善点や2009年度の編集方針についての説明があった。

評議員会は編集委員会終了後、同会議室にて午後4時半より行われた。2009年度総会に提出する報告事項・審議事項などに関して審議した。その内容に関しては総会の項を参照されたい。

(3) 2009年度総会

3月27日のポスター発表終了後、午後5時50分から琉球大学法文学部新棟において総会を行った。堀口会長の挨拶の後、川口栄男氏(九州大学)を議長に選出し、議事に入った。

[報告事項]

・庶務関係

(1) 会員状況(2009年3月6日現在):名誉会員5名,普通会員944名,(国内・一般652名,国内・学生138名,外国151名),団体会員52名,賛助会員15名,国内購読18件,国外購読4件。

(2) 2008年度事業報告:1)日本藻類学会第32回大会・編集委員会・評議員会・総会(3月21日～3月24日,東京海洋大学海洋科学部)の開催,2)和文誌「藻類」56巻1号,1号増補,2号,3号の発行,3)英文誌「Phycological Research」56巻1～4号の発行,4)第11回日本藻類学会論文賞(宮村新一氏・南雲保氏)の授与と第12回日本藻類学会論文賞の選考,5)第4回日本藻類学会研究奨励賞の選考,授与(内藤佳奈子氏)および第5回日本藻類学会研究奨励賞の募集,6)日本藻類学会会長選挙及び評議員選挙の実施,7)シンポジウム「藻場を見守り育てる知恵と技術(3月21日,東京海洋大学)」の共催(主催:磯焼け対策全国協議会),8)ワーク・ショップI「分子系統解析の基礎と実践」(3月21日,東京海洋大学)およびワーク・ショップII「海藻と付着性微細藻(珪藻・藍藻・渦鞭毛藻・ハプト藻・鞭毛虫)の分類と生態」(3月23日,3月24日,東京海洋大学館山ステーション)の開催,9)第11回マリンバイオテクノロジー学会大会(5月24日～5月25日,京都大学)への協賛。

(3) 2009年度の科学研究費補助金研究成果公開促進費「学術定期刊行物」の申請を見送ったことについて説明があった。

・会計関係

(1) 2009年3月6日現在の2008年度会費納入率(雑誌発送会員を対象)は,普通会員(国内・一般)91.3%,普通会員(国内・学生)81.3%,普通会員(外国)97.1%,賛助会員73.3%,団体会員82.6%であった。

(2) 2008年度一般会計決算等,その他の事項に関しては審議事項を参照されたい。

・編集関係

表 1. 2008 年度一般会計決算 (2008.1.1 - 2008.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
会費	6,005,000	和文誌経費	2,854,552
普通 (国内・一般)	3,860,000	藻類 56 号 1 巻	1,020,405
普通 (国内・学生)	445,000	藻類 56 号 1 巻増補	424,830
普通 (外国)	455,000	藻類 56 号 2 巻	615,493
団体会員	945,000	藻類 56 号 3 巻	793,824
賛助会員	300,000	英文誌経費	3,182,950
和文誌関係収入	2,204,571	超過頁代 Phycol Res 55	331,200
定期購読	693,450	Phycol Res 56(1)	1,425,875
バックナンバー	20,750	Phycol Res 56(3)	1,425,875
別刷・超過頁代	1,103,130	編集費	56,230
広告代	386,770	庶務費	287,480
版權還付金	471	事務用品費	35,030
英文誌関係収入	475,709	会議費	33,328
版權還付金	349,341	通信印刷費	162,665
掲載料	126,368	諸雑費	56,457
受取利息	8,731	幹事旅費	25,250
寄付金	573,263	大会補助費	120,000
		自然史学会連合分担金	40,000
		分類学会連合分担金	10,000
		口座振替サービス導入経費	1,100
小計	9,267,274	小計	6,577,562
前年度繰越金	8,141,585	次年度繰越金	10,831,297
合計	17,408,859	合計	17,408,859

(1) 2008 年度に発行した和文誌「藻類」56 巻 1～3 号は、総頁数 306 頁 (1 号増補 54 頁を含む)、内訳は原著論文・総説 7 編、その他であった。

(2) 2008 年度に発行した英文誌「Phycological Research」56 巻 1～4 号は、総頁数 325、掲載論文数 34 編であった。これらに関連した詳細については、前述の編集委員会・評議員会の項を参照されたい。

【審議事項】

・庶務関係

(1) 2009 年度事業計画として以下の事項が承認された：

1) 日本藻類学会第 33 回大会・評議員会・総会 (琉球大学千原キャンパス、3 月 26 日～3 月 29 日) の開催、2) 和文誌「藻類」57 巻 1 号、1 号増補、2 号、3 号の発行、3) 英文誌「Phycological Research」57 巻 1～4 号の発行、4) 第 12 回日本藻類学会論文賞の授与と第 13 回日本藻類学会論文賞の選考、5) 第 5 回日本藻類学会研究奨励賞の選考、授与と

第 6 回日本藻類学会研究奨励賞の募集、6) シンポジウムの共催：「藻類を通じた環境教育と藻類資源利用の現状と展望 (仮題)」(11 月 7 日 (土) 13 時～17 時、福井県立大学小浜キャンパス交流センター)、7) 第 12 回マリンバイオテクノロジー学会大会 (5 月 30 日～5 月 31 日、早稲田大学大久保キャンパス) への協賛、8) ワーク・ショップ I 「藻類観察の技術講習 - 電子顕微鏡 (免疫電顕法・ホールマウント法)、蛍光顕微鏡 (FISH 法)」(3 月 26 日、琉球大学理学部)、および、ワークショップ II 「沖縄の海藻と微細藻の観察採集会」(3 月 28 日、琉球大学瀬底実験所) の開催、9) 第 9 回国際藻類学会議 (8 月 2 日～8 月 8 日、国立オリンピック記念青少年総合センター) の共催。

・会計関係

(1) 2008 年度一般会計決算報告および同監査報告 (会計監事:伊藤裕之会員、渡部雅博会員) は表 1 の通り承認された。

(2) 2008 年度山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告および同監査報告は表 2 の通り承認された。

表 2. 2008 年度山田幸男博士記念事業基金特別会計決算 (2008.1.1 - 2008.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息		論文賞用雑費	10,855
普通預金利息	1,111		
スーパー定期利息	5,940		
小計	7,051	小計	10,855
前年度繰越金	2,597,782	次年度繰越金	2,593,978
合計	2,604,833	合計	2,604,833

表 3. 2008 年度研究奨励賞事業基金特別会計決算 (2008.1.1 - 2008.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	1,874	奨励賞賞金	100,000
小計	1,874	小計	100,000
前年度繰越金	1,902,471	次年度繰越金	1,804,345
合計	1,904,345	合計	1,904,345

表 4. 2009 年度一般会計予算 (2009.1.1 - 2009.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
会費	6,183,550	和文誌経費	4,771,000
普通 (国内・一般)	3,898,800	英文誌経費	7,908,367
普通 (国内・学生)	413,250	編集費	300,000
普通 (外国)	532,000	英文誌編集補助費	200,000
団体会員	969,000	和文誌編集補助費	100,000
賛助会員	370,500	庶務費	220,000
和文誌関係収入	3,463,150	事務用品費	30,000
定期購読	154,000	会議費	30,000
バックナンバー	20,000	通信印刷費	100,000
別刷・超過頁代	3,000,000	諸雑費	60,000
広告代	289,000	幹事旅費補助	25,000
著作権還付金	150	大会補助費	120,000
英文誌関係収入	559,000	シンポジウム補助費	0
超過頁代	90,000	自然史学会連合分担金	0
掲載料	120,000	分類学会連合分担金	10,000
著作権還付金	349,000	口座振替サービス導入経費	1,100
受取利息	700		
寄付金	50,000		
小計	10,256,400	小計	13,355,467
前年度繰越金	10,831,297	次年度繰越金	7,732,230
合計	21,087,697	合計	21,087,697

(3) 2008 年度研究奨励賞事業基金特別会計の決算報告および同監査報告は表 3 の通り承認された。

計、および研究奨励賞事業基金特別会計の予算は表 4、表 5 および表 6 の通り承認された。

(4) 2009 年度一般会計、山田幸男博士記念事業基金特別会

・その他

表 5. 2009 年度山田幸男博士記念事業基金特別会計予算 (2009.1.1-2009.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	4,200	論文賞用雑費	11,000
小計	4,200	小計	11,000
前年度繰越金	2,593,978	次年度繰越金	2,587,178
合計	2,598,178	合計	2,598,178

表 6. 2009 年度研究奨励賞事業基金特別会計予算 (2009.1.1-2009.12.31)

収入 (円)		支出 (円)	
受取利息	2,600	奨励賞賞金	100,000
小計	2,600	小計	100,000
前年度繰越金	1,804,345	次年度繰越金	1,706,945
合計	1,806,945	合計	1,806,945

日本藻類学会 2008 年度決算書に対し記名捺印する 2009 年 1 月 20 日
 2008 年度 会 長 川井 浩史 印
 2008 年度 会計幹事 田辺 祥子 印
 決算書が適正であることを認める 2009 年 1 月 20 日
 2008 年度 会計監事 渡部 雅博 印
 伊藤 裕之 印

(1) 日本藻類学会第 35 回大会の開催地を富山市とすることが承認された。

(2) 2009～2010 年度の会計監事として、工藤利彦氏および四ツ倉典滋氏が承認された。

(3) 和文誌「藻類」の著作権および著作権ポリシーについて、明確化のための具体案を事務局で作ることが承認された。

[日本藻類学会論文賞授与]

第 12 回日本藻類学会論文賞受賞者の発表および授与が行われた。これは 2007 年から 2008 年にかけて出版された英文誌「Phycological Research」vol.55(4), vol.56(1)～(3)の中から、規定により審査員の投票によって選ばれ、総会前日に開催された合同編集委員会および評議員会です承されたものである。今回は下記の論文が選ばれ、論文の著者に賞状が授与された。

Hisato Ikegaya, Takahisa Hayashi, Tomomi Kaku, Kazuyoshi Iwata, Seiji Sonobe, Teruo Shimmen
 Presence of xyloglucan-like polysaccharide in *Spirogyra* and possible involvement in cell-cell attachment.
 Phycological Research 56 (3): 216-222 (2008)

[日本藻類学会研究奨励賞授与]

第 5 回日本藻類学会研究奨励賞の発表と授与が行われた。

同賞は藻類学及びその関連分野において優れた研究成果をあげた若手研究者を表彰するものであり、推薦委員会で授賞候補者が選ばれた後、評議員会です承されたものである。今回は佐藤晋也氏 (Alfred Wegener Institute for Polar and Marine Research, Bremerhaven, Germany, 無縦溝珪藻類の形態学および分子系統学的研究) が選ばれ、賞状および副賞 (賞金 10 万円) が授与された。



奨励賞授与式 (左: 佐藤晋也氏, 右: 堀口健雄会長)